

みらい通信

第57号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
発行日 平成25年 4月19日(金)

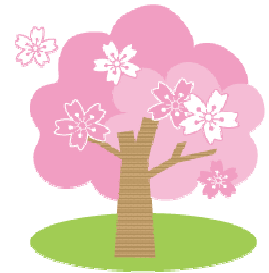
■ 平成25年度通常総会のご案内

平成25年度通常総会を下記のとおり開催いたします。
お忙しいとは存じますが、ぜひご出席くださいますようご案内申し上げます。

日時 平成25年5月16日(木)午後6時30分から
場所 ナックスホール
議事 平成24年度事業及び決算報告について
平成25年度事業計画(案)及び予算(案)について
定款の変更について
役員を選任について

総会の成立には定足数の出席を必要とします。当日ご出席いただけない場合は、返信用はがきの委任状欄へ署名押印のうえご返送ください。

通常総会后、同会場において懇親会を予定しております。(会費3,500円)



■ 森づくりワークショップ

3月13日(水)山王海土地改良区会議室で、日頃森づくりの活動をしている関係者に集まっていただき、紫波町の森林の維持・管理・事業を行うための課題とその解決策を共有するため、ワークショップを開催しました。(みらい研から8名参加)

参加者29名は4班に分かれて、紫波町の森のイメージ、森林の活用方法、森を守るために、をテーマに意見を出し合い班ごとに発表し、これから紫波町の森づくりを進めていくためにやらなければならないことを確認しました。



「森を守るために」に出された意見をまとめてみると・・・
森林整備にこれまで以上に力を入れていく。

森を育てるためには、空気・水・土・光が必要であり、その中で人間ができるのは森に光を入れる(除間伐)ことである。山主さんでは限界があることから、森林ボランティアなどの組織を作り、作業を継続していく必要がある。それには、個人の山という意識を捨て、町にある森林は、町民の森なんだという意識を持ってもらうことが大事である。したがって、整備と同じくらい、時代を担う子どもたちや町民に森林の大切さ・役割を知ってもらう体験教室の実施が求められる。整備や環境体験学習には、県民税や補助金の活用を検討する。また、企業との協働も実施していく・・・!



「森を守るためには、金・人そして、最も大事なものは心である」という名言がうまれました。

■ 4月～6月の事業 みなさんの参加お待ちしております

5月10日(金) 10時30分～12時 食話倶楽部「まつり寿司講座」

大好評につき第2弾を開催します!!

紫波の食材を使って紫海巻(四海巻)と花寿司をつくります。

場 所: オガールプラザキッチンスタジオ

参加費: 1,000円(材料費、2本持ち帰り)

募集人数: 先着10名 申込みは紫波みらい研究所へ

5月16日(木) 18時30分～ 「平成25年度通常総会」

6月16日(日) 「森のあそび場“りんくる春”」

場 所: 彦部大巻地区「大正園」 詳細は後日

■ 紫波町企業の森が始まります

3月末～4月上旬 (株)エルテス...山屋地区

5月18日(土) 東北銀行...城山公園

6月 1日(土) 情報産業労働組合連合会岩手県協議会...水分地区

平成25年度新規 5月7日協定締結予定

15日(土) 盛岡信用金庫...水分地区

22日(土) (株)藤村商会...水分地区



ことのは



春です。新学期です。厳しい冬を乗り越えた菜っ葉たちにもとうが立ち始め、ああ、路地の畑にも春がやってきたのだなあ。と、感じられるようになりました。

「春」は「万物のハル(発る)候」とか、「芽のハル(張る)候」とかいうように、草も虫も活発になっています。これから本格的に始まる農作業も、草や虫の活発さに負けないようにやっぴいこうと胸躍らせているところです。

さて、これから私がどのような農業をするのかというと、いわゆる、「有機農業」というやつです。今ではありふれたコトバとなっていて、「有機化合物を多く含んだ(化学肥料などは使わない)

資材を使った農業」というのが一般的な解釈かと思います。しかし、有機農業の「有機」というコトバには「天地に機有り」というコトバが根底にあります。ざっくりいえば「この世にはしくみがある」ということなのです。何を言っているのか、かなりちんぷんかんぷんですが、それが、「私の有機農業」です。

慣行農法が「how to」の農法であるならば、有機農法は「why」の農法ということで、新学年、新学期、私は畑の学校で「しくみ」とは何なのか学びに行ってきます。

こかげのうえん 関 大輔

〔 編集後記 〕

昨年度、優柔不断な私が「必ず続けるぞ!」と決めたのが「みらい通信」の毎月発行。

無い頭をひねりながらも、なんとか12回発行することが出来ました。

そして遅れながらもブログも、事業の報告だけですが更新しております。

お時間がある時にでも、ぜひご覧いただきたいと思います。

「みらい通信 みらい研ブログ」(<http://shiwamirai.blog75.fc2.com/>)

またはみらい研のホームページからブログにアクセスしてみてください。

(最新記事は「北緯56度から」デンマークに留学中のみらい研会員、

K.Hさんからのお手紙を載せています)

